



「ちょっと一言！」・・・ 創立記念は、隊員の皆さんにとって年に一度の「百練成鋼」の成果披露と、国民の「安心・安全」を守る強固な意志表示の場であると同時に、地域交流を深める場でもあります。今回は、私の独断で後者に重点を置き編集させて頂きましたが、来年はまた晴天を期待しながら皆さんのご活躍振りをご紹介させて頂きたいと思っておりますので、是非ご了承下さいますよう、追記させて頂きます。写真下は屋内ミニコンサート風景



阿見中の吹奏学部の演奏

「霞ヶ浦校」吹奏学部の演奏

今や、自衛隊のイベント人気はウナギ登りです。中には応募抽選と云う条件付きイベントさえある程の加熱振りです。一方創立記念は、主に地域交流を目的とする、オープンな年中行事の一つです。毎年どこの駐屯地も、老若男女隔たり無く楽しめるように競って趣向を凝らし、来場者を持成してくれませんが、取り分け「霞ヶ浦」のスケールは一際桁外れです。先ずゲートに着くと、「ようこそ霞ヶ浦駐屯地へ！」の横断幕に迎えられ、更に奥にはブルーの大型エアアーチがまるで広大な駐屯地全体が手を広げ、来場者を包み込むかのように出迎えてくれるのですから、流石の私もその持成し振りに一瞬足を止めてしまう程の驚きでした。そして「霞ヶ浦」ならではの、F・リフトや大型車両主体の観閲行進、テーマパーク顔負けのトロツコ列車、更にお絵描きや迷路にダーツと云ったファミリー向けの会場は、巨大な建屋一棟を丸ごと使うと云う贅沢さです。またその会場警備やガイドを務める隊員の細やかな気配りも、書き添えて置きたい貴重な場面の一つです。「建屋もビッククなら、持成しも超ビックク」、これこそが「霞ヶ浦」だからその為せる業です。写真を参考に少しでも納得して頂ければ幸いです。まだ一度も体験のない自衛隊ファンには、是非一度肌で実感しておくべき事をお薦めします。編集部・吉田

